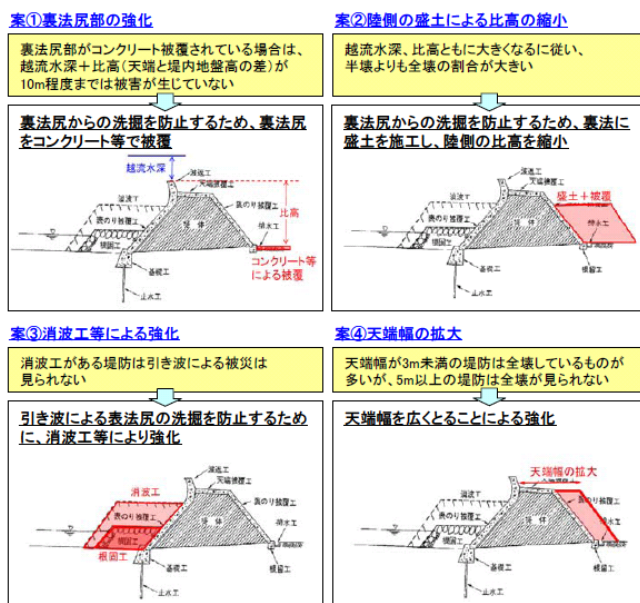


【取組の概要】

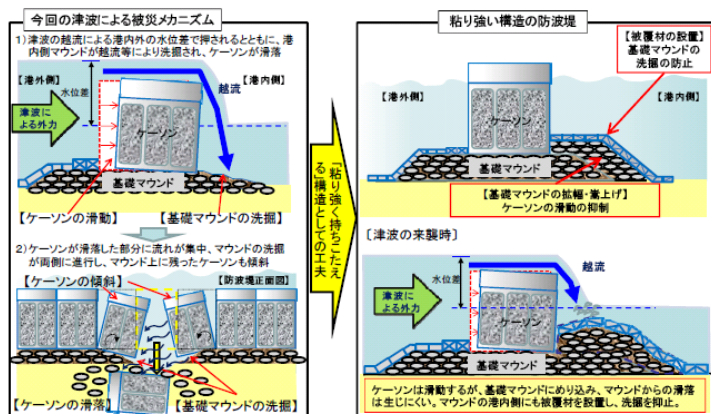
津波対策を行うには、海岸堤防等の「粘り強い」構造への改良が必要です。また、津波の遡上が懸念される河川では、堤防、水門等の整備や水門等の遠隔・自動化も必要です。地方公共団体は、国や県と連携して堤防等の補強・機能強化を行う必要があります。

【計画、整備にあたっての着眼点・留意点】

- ・堤防等は連続性を有してはじめて機能するため、地方公共団体は国や県等の関係機関と連携を取り整備等を行う必要があります。



◇海岸堤防の津波対策（粘り強い堤防）



◇防波堤の津波対策（粘り強い防波堤）